

前_地域整備計画実施方針の概要

- ◆対象期間 平成24年度～平成27年度
- ◆地域整備計画で目指す方向
 - ・地域活性化に向けた基盤整備 (交流・物流基盤の強化, 観光支援)
 - ・安全・安心の確保に向けた基盤整備 (日常生活～自然災害への対応)
- ◆目標実現に向けた実施方針
 - 1) 社会資本整備の重点化
 - 2) 社会資本ストックの有効活用
 - 3) 社会資本の適正な維持管理
 - 4) 地域に密着した取り組みの推進
 - 5) 事業の効率化に向けた取組の推進

前_計画の成果

地域整備計画に位置付けた事業箇所の進捗状況 (平成27年度末)

計画は5年間で90箇所を実施し、35箇所を完成と位置づけています。実績は計画期間内に33箇所を完成しました。

	広島県 道路整備 計画2011 (H23～H27)	ひろしま 川づくり プラン2011 (H23～H27)	ひろしま 砂防 アクション プラン (H23～H25) (H26～H28)	ひろしま 海岸プラン (H23～H27)	広島県 みなと振 興プラン (H23～H27)	計
完成	20	0	8	4	1	33
継続	16	4	18	4	2	44
合計	36	4	26	8	3	77

課題

- 1) 広域的な交流・連携基盤の強化

国は、東広島呉自動車道の全線供用開始に続き、休山新道の4車線化の整備[休山トンネル(Ⅱ期)]を進めています。こうした整備による広域交流基盤の強みを生かし有効活用するため、これらと地域や拠点を結ぶ道路の整備を進め、引き続き道路ネットワークの強化を図ります。
- 2) 交通安全対策の推進

通学路の安全確保を図るため、呉市が策定する「通学路交通安全プログラム」に基づいて、歩道整備等の安全対策を推進します。
- 3) 防災・減災対策の充実・強化

管内においては、対策を必要とする箇所が多いため、優先度の高い箇所から選択し集中的に事業推進を行い早期完成を図ります。また、土砂災害防止法に基づく基礎調査については、平成30年度までの調査完了に向け、未調査地区に順次着手するとともに、土石流に関する区域の見直しについては、平成31年度の完了に向け、平成28年度から着手し、調査を継続的に推進します。

ストック効果

1) 広域的な交流・連携基盤の強化

①広域交通ネットワークの強化

国道487号 警固屋音戸バイパスが完成 渋滞の解消



一般国道487号警固屋音戸バイパス第二音戸大橋 (写真中の下の橋梁は音戸大橋)

江田島市から呉市への救急搬送
40分→30分(10分短縮)
《消防署からの声》



- 移動時間短縮
- 定時性の向上
- 輸送コストの低減

生産性の向上

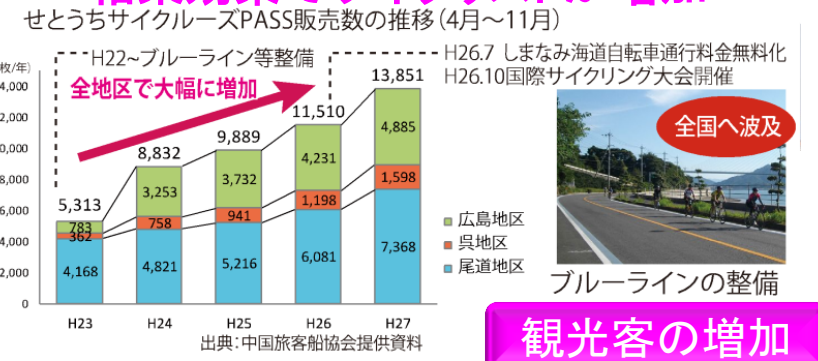
②集客・交流機能の強化と観光資源のブランド力向上

サイクリング推奨ルート上にブルーラインと距離標(路面標示)を整備。



「安芸灘とびしま海道」と隣の「しまなみ海道」の間を行き来する (大三島と岡村島をフェリーで渡り)

相乗効果でサイクリストが増加



生産性の向上

2) 交通安全対策の推進

「道路の拡幅」や「歩道の新設」
安心して歩ける道 (交通事故の抑止)



生活の質の向上

3) 防災・減災対策の充実・強化

【河川】 災害から「生命」と「暮らし」を守る
【高潮対策】
【砂防・急傾斜】



生活の質の向上